

令和5年度 事業計画書

1 東三河スタートアップ推進協議会の目的

東三河地域において、スタートアップ支援に係る様々な活動を行っている事業会社、大学、行政機関等により構成される東三河スタートアップ推進協議会は、地域発のスタートアップの創出と、地域に適したスタートアップ・エコシステムの形成を目的とする。

2 令和5年度の目標

地域発のスタートアップの創出と、地域に適したスタートアップ・エコシステムの形成に向け、本年度は次の3つの目標を設定する。各会員や支援機関はもとより、愛知県や「PRE-STATION Ai」とも連携し、また、地域の事業会社や金融機関等を巻き込みながら東三河で一体となって事業を展開していく。

- (1) 東三河地域のスタートアップ・エコシステムの拡充
- (2) スタートアップ支援の強化（メンタリング、事業資金、リソースの提供）
- (3) 運営体制の強化

3 令和5年度の運営体制

昨年度に引き続き、年に1回以上総会を開催し、本協議会の運営に関する重要事項等について議論する。また、事業管理者及び実務担当者で構成される「運営部会」を設置し、総会に関する事項の検討や事業の進捗確認等を行う。加えて、昨年度まで実務担当者により実施してきた6つのプロジェクトを「事業」という形で、内容を継続しながら実施していく。

(1) 総会の開催

会則の変更等、当該年度の活動、本協議会の運営に関する重要事項について議論

< 構成員 >

事業責任者…各会員を代表する者

< 開催回数 >

年1回以上

(2) 運営部会の開催

総会に関する事項や進捗確認等

< 構成員 >

事業管理者・・・各会員組織の上層部と実務担当者を繋ぐために重要な役割を担っている管理職など

実務担当者・・・各会員組織の実務を担当する者

< 開催回数 >

事業管理者による運営部会・・・随時

実務担当者による運営部会・・・週 1 回程度

(3) 事業の実施

①Higashi Mikawa UPPERS事業

②東三河 8 市町村実証実験サポート事業

③東三河地域共創事業

④大学連携事業

⑤東三河共創促進に向けた仕組化・可視化、情報発信・PR事業

⑥スタートアップ・エコシステムスタディ（勉強交流会）

< 構成員 >

実務担当者

< 開催回数 >

各事業とも週 1 回～隔週に 1 回程度

4 令和 5 年度の主な取り組み

(1) 6 つの事業の着実な推進

① Higashi Mikawa UPPERS事業

東三河内外の起業家等と応援者が参画し、4 か月間で 1 つ成果（ヒアリング調査、実証実験など）を創出するプロジェクトを推進する。この活動により、当エリアにおける起業チャレンジのハードルを下げるとともに、実践的な起業体験機会を広く提供する。

< 具体的な内容 >

- ・ミーティングの開催（週 1 回～隔週に 1 回程度）
- ・プロジェクト参加者による定例会の開催（月 4 回程度）
- ・活動発表・交流会（ミートアップ）の開催（年 2 回程度）
- ・運営メンバーが交代しても安定的に運営できる体制づくりの検討
- ・活動内容の可視化

< KPI の設定 >

定点（各期）における数値を計測

【第 4 期】プロジェクトの数 15 プロジェクト

② 東三河 8 市町村実証実験サポート事業

スタートアップと東三河の市町村を繋ぎ、東三河内で実証実験等を実施するための支援を行う。また、東三河全体で実証実験が可能となるよう、新たな市町村の参画を図り、本事業の支援体制の強化を目指す。

<具体的な内容>

- ・ミーティングの実施（週 1 回～隔週に 1 回程度）
- ・スタートアップと東三河の市町村等とのマッチング機会の創出（随時）
- ・東三河の市町村が東三河内外でスタートアップと実施する実証実験等の支援（随時）

<KPIの設定>

- ・東三河でスタートアップがヒアリングや実証実験を実施した市町村数及び件数
5 市町村10件

③ 東三河地域共創事業

東三河の事業会社を巻き込むため、東三河の金融機関や商工会議所、商工会などとの連携を強化するとともに、東三河で活躍する経営者等のノウハウを、スタートアップを目指す起業家に伝えるなど、東三河でスタートアップと事業会社との共創が自然と生まれるような環境づくりを目指す。

<具体的な内容>

- ・ミーティングの実施（週 1 回～隔週に 1 回程度）
- ・地域事業会社向けの勉強会の開催（随時）
- ・会員が実施する勉強会やピッチイベント等との連携
- ・革新的な創業や経営を行い、事業を成功させている地元起業家を表彰するイベントの検討

<KPIの設定>

- ・東三河の金融機関との連携 4 機関
- ・勉強会等に参加した事業会社数 50 社

④ 大学連携事業

㈱サイエンス・クリエイティブ及び㈱リバネスが実施するイベント「超異分野学会豊橋フォーラム」において、豊橋市や豊橋技術科学大学、豊橋商工会議所などと連携し、大学発スタートアップや事業会社における研究シーズを活用した新事業の創出に向けた活動を実施する。

<具体的な内容>

- ・ミーティングの実施（週 1 回～隔週に 1 回程度）

<KPIの設定>

- ・研究シーズを活用した連携仮説の創出件数 30 件
- ・研究シーズを活用したサービスの社会実装 1 件 など

⑤ 東三河共創促進に向けた仕組化・可視化、情報発信・PR事業

本協議会の運営に関する情報の整理や仕組みの検討を行うとともに、SNSなどの発信ツールを活用して東三河内外に本協議会の取り組みを発信していく。

<具体的な内容>

- ・ミーティングの実施（週1回～隔週に1回程度）
- ・オンボーディングの仕組、情報の整理（PDCAを回す）
- ・noteによる発信（月1回程度）
- ・やしの実FMによるラジオ配信
- ・HPの更新（随時）
- ・facebookの運用（常時）

⑥ スタートアップ・エコシステムスタディ（勉強交流会）

スタートアップ・エコシステムの構築に必要な知識の習得と人材が交流する場として、様々な支援機関・事業会社・起業家まで横断的に参加可能な勉強交流会を開催する。

<具体的な内容>

- ・ミーティングの実施（随時）
- ・スタートアップ・エコシステムスタディの開催（随時）

（2）本協議会会員が実施する事業との連携

emCAMPUS、CLUE、StartupGarageなどの支援機関や、豊橋市及び愛知県などの行政機関、その他会員が実施する事業と連携（共催又は後援）し、団体間を越え地域が一体となった活動を展開する。

（3）本協議会における予算の検討

令和4年度に可視化した運営経費をもとに、本協議会として予算化を目指すのかどうか検討を行う。